

長野県図書館協会・長野県図書館大会のあり方検討チーム

アンケート結果

「図書館協会 支部のあり方について」

実施期間: 令和7(2025)年1月8日~2月14日

回答数 : 13(回答対象数: 14)

回答率 : 92.9%

アンケート項目一覧
支部組織があるか(支部組織の構成)
支部としてどのような活動をしているか
支部の活動に期待すること
支部の課題
支部として県図書館協会に期待すること(意見、要望等)
その他

長野県図書館協会

(アンケート回答内容の要約に生成AI(Microsoft Copilot)を使用しています。) 1

図書館協会 支部のあり方について

▶ 支部組織の有無

項目	件数	内訳
学校図書館と公共図書館とからなる支部組織がある	8	安曇野,佐久,上伊那,上小,諏訪,須高,大北,中飯
学校図書館のみからなる支部組織がある	4	塩筑,松本,上伊那,木曾
公共図書館のみからなる支部組織がある	1	下伊那

▶ 支部の活動内容

項目	佐久	上小	諏訪	上伊那	下伊那	木曾	塩筑	松本	安曇野	大北	須高	中飯	総計
総会	1	1	1	1	1	0	0	1	0	1	1	1	9
研修会	1	1	0	1	1	1	0	1	1	1	0	1	9
情報交換会	1	0	0	1	1	1	0	0	1	1	0	1	7
読書感想文コンクール	1	1	1	1	0	0	1	1	0	1	1	1	9
学校図書館と公共図書館との連携	1	0	1	0	1	0	0	0	1	1	1	1	7
他の支部や広域との連携	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
計	5	3	4	5	4	2	1	3	3	5	4	5	44

- ※ 他の支部や広域との連携
- ・下伊那支部が企画した研修会を上伊那支部にも紹介し参加を募った
 - ・南信地区学校図書館研究会が、他支部開催の場合、諏訪支部内に情報を提供し、支部間相互に参加している。
- ※ その他
- ・コロナ禍前は研修会も行っていた

▶ 支部の活動に期待すること(まとめ)

- ・学校図書館司書の研修を通じて、子どもたちに有益な図書館運営を目指す。
- ・情報共有や相互貸借などでの連携を強化する。
- ・読書感想文コンクールを通じて、子どもたちの読書活動を促進する。
- ・図書館大会を通じて連帯感が生まれ、今後も研修を続けたいという声が上がっている。
- ・公共図書館と学校図書館の連携を強化し、新しい情報や成果課題を共有する機会を増やす。
- ・市町村単位の司書任用に対し、郡単位での組織があると研修や情報交換がスムーズになる。

図書館協会 支部のあり方について

➤ 支部の課題(まとめ)

- 学校図書館司書と司書教諭の情報共有や課題共有が難しい。
- 学校図書館の運営は図書館司書の力量に依存している。
- 初めての学校図書館司書には研修の機会が少ない。
- 活動内容が情報共有や事業報告に留まっている。
- 小中学校図書館部会と公共図書館部会の相互理解を深める必要がある。
- 支部の活動が少なく、情報交換が不足している。
- 支部役員が顔を合わせる機会が少ない。
- 教員の図書館教育担当者との連携を深めたい。
- 公共図書館との連携を進めるため、会合を開催予定。
- 支部の合併により、読書感想文コンクールの業務が拡大している。
- 公立図書館との連携が十分ではない。
- 公民館図書室のみの自治体の多くが総会や研修会に参加していない。
- 図書館大会や研究会への教諭や司書教諭の参加が少ない。
- 図書館教育に熱心な教員の固定化と高齢化が進んでいる。

➤ 支部として県図書館協会に期待すること(まとめ)

- 図書館司書の資質・能力向上が学校図書館の充実に重要。
- 図書館司書のサポートや研修の機会が必要。
- スキルアップ研修の実施や情報提供が求められる。
- 公共図書館と小中学校図書館部会や県図書館協会との接点が少ない。
- 大会の開催方針や日程の大枠を早めに示してほしい。
- 読書感想文コンクールの賞状に関する改善要望。
- 支部での県大会の運営効率化と支援体制の強化が必要。
- 全県レベルの研修会の周知と講師依頼の支援が求められる。
- 他支部の運営や活動状況、研修会の情報共有が必要。
- 公立図書館のない町村への図書館の意義を伝える研修の実施が求められる。

図書館協会 支部のあり方について

➤ その他

- 支部ごとの図書館大会の内容が、授業参観・授業研究をベースにした取り組み(学校ごとの研究の色が出てしまい、図書館運営に特化したものにならない)が多いのですが、なかなか図書館司書の先生方の資質・能力向上等に繋がっていかないような思いを持っています。図書館司書の先生方が学校図書館運営における課題やテーマを設定し、図書館司書の先生方の実になるような取り組みができればいいなと今回支部の大会を開催してみて感じました。
- 小中学校図書館部会の方々は疑問に感じないかもしれないが、図書館大会等順番表は小中学校部会で調整するのではなく、総会で決定されるべきものではないのか？公共図書館部会からは県図書館協会の姿・仕事が見えない。公共図書館は日頃から県立長野図書館にお世話になっているため、県図書館協会の事業であるにもかかわらず、図書館大会がうまくいかないと「県立は何もやってくれない」というクレームになる。
- 県図書館大会は、全県レベルの情報交換の場として有意義なので今後も継続して欲しい。しかし、持ち回りで行っているブロック単位の図書館大会については、会場校の負担が大きい割に参加者が少なく、授業公開を伴ったブロック大会はなくても良いと考えます。令和8年度に中飯に北信ブロック大会が回ってきます。現在、支部ではどのような開催内容が協会員にとって一番良いのが検討を始めています。公開授業ありきの大会は、負担が大きく見直していきたいと考えています。
- 郡内の全学校から輪番で支部委員を選出する方法に切り替えている。負担軽減にはつながっているが、毎年委員が変わるために活動内容の引き継ぎや、活動の質の向上の面で不安がある。委員になったメンバーが不安なく活動できるよう、前年度末からある程度委員選出の見通しをもってとり組める方法を考えたい。他支部はどのように運営しているのか、参考にお聞きできればありがたい。

アンケート結果から見えてきた図書館協会の支部活動の改善ポイント

1. 情報共有の強化

- ・ 学校図書館司書と司書教諭の情報共有や課題共有を促進する。
- ・ 公共図書館と学校図書館の連携を強化し、新しい情報や成果課題を共有する機会を増やす。

2. 研修機会の拡充

- ・ 初めての学校図書館司書に対する研修の機会を増やす。
- ・ 図書館司書の資質・能力向上のためのスキルアップ研修を実施する。
- ・ 全県レベルの研修会の周知と講師依頼の支援を行う。

3. 支部活動の活性化

- ・ 支部役員が顔を合わせる機会を増やし、情報交換や次年度の研修会の計画を立てる場を設ける。
- ・ 支部の活動内容を情報共有や事業報告に留めず、具体的な取り組みを増やす。

4. 連携の強化

- ・ 公共図書館と学校図書館の連携を進めるため、会合を開催する。
- ・ 公立図書館のない町村への図書館の意義を伝える研修を実施する。

5. 読書活動の促進

- ・ 読書感想文コンクールを通じて、子どもたちの読書活動を促進する。
- ・ 学校と公共図書館や地域住民の連携を進め、子ども達の読書活動を支援する。

6. 支援体制の強化

- ・ 支部での県大会の運営効率化と支援体制の強化を図る。
- ・ 他支部の運営や活動状況、研修会の情報共有を行う。

7. 組織運営の改善

- ・ 支部の合併により、業務が拡大しているため、効率的な運営方法を検討する。
- ・ 支部委員の選出方法を見直し、活動内容の引き継ぎや質の向上を図る。

E.O.F